

# 4年間の学びのステップ LEARNING STEPS OF 4 YEARS

## ▶ カリキュラム ◎:必修

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次						
基礎	応用	発展							
<p>世界各国の文化と芸術に関する基礎知識を、少人数クラスで学ぶ。</p> <p>世界各国の文化と芸術に関する全24種類の少人数クラスの中から、自らの興味や関心に従ってクラスを選び、基礎的な知識や教養を身に付けます。また様々な外国語を学ぶことで語学力と多角的な思考力を育てます。</p>	<p>3つの系に分かれて専門的な視野を広げ、語学力を発展させる。</p> <p>東洋文化系、西洋文化系、複合文化系の3つの系に分かれて、さらに専門的な少人数クラスを開始し、研究文献を解釈する力や実践的な表現力を身に付けます。それに加えて高度な外国語学習によって専門的な語学力を養成します。</p>	<p>3～4年生の合同少人数クラスで、自分の専門研究を磨き上げる。</p> <p>自分が所属する系の8種類のクラスの中から卒業論文の執筆に向けて1クラスを選びます。このクラスは3～4年生が協力して学ぶ合同クラスです。また自分の専門研究と外国語学習を結びつけることで語学力をさらに向上させます。</p>							
<p>日本文化コース</p> <p>中国・アジア文化コース</p> <p>アメリカ・太平洋文化コース</p> <p>ヨーロッパ・地中海文化コース</p> <p>比較文化コース</p> <p>表象文化コース</p>									
<p><b>演習・卒業論文</b></p> <p>◎基礎演習A・B① ◎導入演習A・B②</p> <p>◎専門演習A・B③ ◎卒論演習A・B④</p> <p>◎卒業論文④</p>									
<p><b>文化論</b></p> <p>文化コース基礎論a～f① 文化のダイナミズムA・B①</p>									
<p><b>系・コース専攻</b></p> <table border="1"> <tr> <td>日本文化史A・B② 日本文化論A・B② 日本文学論A・B② 東アジア文化交流論A・B② 日本社会論A・B②</td> <td>中国・アジア文化史A・B② 東アジア思想A・B② 中国文学概論A・B② 中国民族文化論A・B② 東アジア文化論A・B②</td> <td>アメリカ・太平洋文化史A・B② アメリカ思想文化論A・B③ アメリカ社会文化論A・B② アメリカ宗教文化論A・B②</td> <td>ヨーロッパ・地中海文化史A・B② ヨーロッパ文学論A・B② ドイツ文化論A・B② 地中海都市文化論A・B② 地中海宗教文化論A・B②</td> <td>比較文化論A・B② 現代思想文化論A・B② 比較社会文化論A・B② 文化人類学A・B② 比較言語文化論A・B②</td> <td>表象文化史A・B② 表象文化論A・B② 表象メディア論A・B② 美学・芸術学A・B② 芸術文化史A・B②</td> </tr> </table>				日本文化史A・B② 日本文化論A・B② 日本文学論A・B② 東アジア文化交流論A・B② 日本社会論A・B②	中国・アジア文化史A・B② 東アジア思想A・B② 中国文学概論A・B② 中国民族文化論A・B② 東アジア文化論A・B②	アメリカ・太平洋文化史A・B② アメリカ思想文化論A・B③ アメリカ社会文化論A・B② アメリカ宗教文化論A・B②	ヨーロッパ・地中海文化史A・B② ヨーロッパ文学論A・B② ドイツ文化論A・B② 地中海都市文化論A・B② 地中海宗教文化論A・B②	比較文化論A・B② 現代思想文化論A・B② 比較社会文化論A・B② 文化人類学A・B② 比較言語文化論A・B②	表象文化史A・B② 表象文化論A・B② 表象メディア論A・B② 美学・芸術学A・B② 芸術文化史A・B②
日本文化史A・B② 日本文化論A・B② 日本文学論A・B② 東アジア文化交流論A・B② 日本社会論A・B②	中国・アジア文化史A・B② 東アジア思想A・B② 中国文学概論A・B② 中国民族文化論A・B② 東アジア文化論A・B②	アメリカ・太平洋文化史A・B② アメリカ思想文化論A・B③ アメリカ社会文化論A・B② アメリカ宗教文化論A・B②	ヨーロッパ・地中海文化史A・B② ヨーロッパ文学論A・B② ドイツ文化論A・B② 地中海都市文化論A・B② 地中海宗教文化論A・B②	比較文化論A・B② 現代思想文化論A・B② 比較社会文化論A・B② 文化人類学A・B② 比較言語文化論A・B②	表象文化史A・B② 表象文化論A・B② 表象メディア論A・B② 美学・芸術学A・B② 芸術文化史A・B②				
<p><b>専門外国語</b></p> <p>専門外国語(英語)A・B② 専門外国語(中国語)A・B② 専門外国語(フランス語)A・B②</p> <p>専門外国語(ドイツ語)A・B② 専門外国語(韓国語)A・B② 専門外国語(イタリア語)A・B②</p> <p>専門外国語(古典語)A・B②</p>									
<p><b>学部共通</b></p> <p>現代哲学思想A・B② 世界史概論A・B② 日本史概論A・B② 中国史A・B② アメリカ史A・B② ヨーロッパ史A・B② 宗教学A・B② 文化社会学A・B② 文化創造論A・B②</p> <p>人文地理学A・B② 地誌学A・B② 自然地理学A・B② 日本民俗学A・B② 漢文A・B②</p> <p>考古学A・B② 古文書学A・B② ヨーロッパ・ケルト文化論A・B② 比較文化概論A・B② 社会調査法① 質的データ分析論①</p>									
<p><b>自由研究</b></p> <p>海外語学学修I・II①</p>									
<p><b>自由選択</b></p> <p>社会調査実習A・B③</p>									

※履修科目横の①～④は履修年次を表します。  
※上記カリキュラムは2023年度入学者より適用予定。

## 教員紹介

伊藤 慎二 教授 考古学	宮崎 克則 教授 日本近世史
今井 尚生 教授 西欧近現代思想	宮平 望 教授 アメリカ思想・文化
柿木 伸之 教授 哲学・美学	朝立 康太郎 准教授 アメリカ史
片山 隆裕 教授 文化人類学	伊東 未来 准教授 文化人類学
金縄 初美 教授 中国民族学	梅村 卓 准教授 中国近代史
韓 景旭 教授 文化人類学	大原 一浩 准教授 アメリカ社会・文化
栗原 詩子 教授 音楽学・映画学	二藤 拓人 准教授 ドイツ文学
新谷 秀明 教授 中国近現代文学、中国語	藤田 公二郎 准教授 現代哲学
西村 将洋 教授 日本近現代文学	山田 順 准教授 キリスト教考古学
西脇 純 教授 キリスト教典礼学	尹 芝恵 准教授 日韓交流史
松原 知生 教授 イタリア美術史	押尾 高志 講師 近世西地中海史
ヒリエラ マンケ 教授 日本文学	柳沢 史明 講師 芸術学・美術史

## 主なゼミテーマ

「江戸」の政治と文化-古文書から「江戸」を考える-
日本とアジア・太平洋の比較考古学
民族文化から中国社会を読み解く
アメリカの社会形成と多文化主義
ドイツ語圏の文学・文化・思想
ことばと音楽:キリスト教音楽からヨーロッパ文化を読む
西地中海地域の歴史と文化
東南アジアの人々と社会に関する文化人類学的研究
文化人類学から世界を見る
近現代以降の世界を視野に入れた芸術文化・表象文化研究

## ▶ 学科 PICK UP (ゼミの学び)

### 栗原 詩子教授

ゼミテーマ 時間表象を観察する

ひとつの映画が、批評家ごとにどう論じられているかを読み比べ、映画のテーマの多重性を考察します。また、脚本やストーリーだけでなく、画面構図・聴覚連動・色彩象徴といった論点からの分析例を読解します。こうした作業を通じて、曖昧なイメージ、好き嫌い、といった形で、いつのまにか体に染み込んだジャンル観を相対化する力を養います。映画を見る時間の中で、対象(映画)と主体(自分)が連動して変化していく様子を言葉にし、多様性に満ちた現代社会で他者の感じ方を受け入れる力を獲得してほしいと願っています。



### ZOOM IN カリキュラム

#### 中国・アジア文化史

中国と日本は同じ中国文化圏としてくられがちですが、文化や哲学、思考様式において大きく異なる部分が少ないありません。本講義では、中国やその地域を学問的に理解する上で重要な事柄をピックアップし、歴史学的な視点からテーマ毎に講義します。中国の文化的特徴とは何か、中国社会が日本とどのように異なるのかについて理解することを目指します。

#### 現代思想文化論

この講義では、「現代世界を哲学する」をテーマに掲げて授業をしています。現代世界では、グローバリゼーションの進展や、さらには近年のコロナ・パンデミックを通じて、新たな統治秩序が形成されつつあります。本講義では、現代思想の視点から、そうした世界システムを批判的に検討するとともに、この新たな時代をどのように生き抜いていくかを一緒に考えていきます。

## STUDENT'S VOICE

### 自分のフィルターを通さず 他者のありのままを受け入れる。

もともと興味があったアメリカ文化を中心に学び、現在は「スパイク・リー」\*から見る黒人像をテーマに研究しています。人種差別禁止運動が行われる中で、黒人のあるべき姿とはどのようなものか、映画を通じて理想の黒人像を読み解こうとしています。また、学びが深まるにつれて感じるのは、自分の「普通」という概念が変わったこと。それにより、多様な価値観を受け入れ、尊敬をもって他者に接することができるようになりました。将来はこの学びを活かして、国際機関で世界の諸問題解決に向けて取り組むことが目標です。

\*アメリカ合衆国の映画監督。アフリカ系アメリカ人が社会で直面する差別構造や偏見を正面から取り上げる作品で知られる。

国際文化学部国際文化学科  
アメリカ・太平洋文化コース 4年 (2021年12月時点)

### 池上 卓弥

(福岡県・城南高等学校出身)

国際文化学の面白さ  
私が思う  
自分の中の価値基準が  
変わり、物事の新しい  
一面に気が付く

